

競技規則

競技規則については、UCI 国際自転車競技連合ホームページより最新版がダウンロード可能です。(http://www.uci.ch)
また、(財)日本自転車競技連盟のホームページにて日本版がダウンロードできます。(http://www.jcf.or.jp)

ナショナル・ランキングについて（JCFナショナル個人ランキング）

目的 (財)日本自転車競技連盟本連盟加盟団体が主催する公認大会および競技委員会が認める競技大会のうち、対象大会、指定種目に参加した競技者にポイントを付与する。このポイントの累計によりランキングを与え、明確な種目別、階層別の評価基準とし、登録競技者の競技力と競争心の向上に寄与する。
(財)日本自転車競技連盟競技規則 日本自転車競技連盟ランキング制度 抜粋)

解説 各大会のカテゴリー／クラス分けにより実施された全ての大会の競技成績に従い競技者はポイントを獲得し、そのポイントの算出によりランキングが算定される。全日本選手権大会でのみUCIの年齢別クラスによる競技であるので別の表を採用する形となっている。この方式によるランキング制度について、年齢別、技術別の混合であるために一部公平ではないという意見もあったが、各大会での配点表を検討し、高得点獲得大会のみを対象とし必要な修正は行なった。(検討にはUCIのランキングを参考に行った)
各競技者はそれぞれの出場大会により、公平な基準によるカテゴリー／クラスで競技し、その順位、ポイントを受けていると委員会では解釈している。

同ポイントの場合の処置は次の順に確定される。

1. 最高獲得ポイント順: 該当対象大会中での1大会最高獲得ポイント。
2. 最終獲得ポイントの遅い順: 集計直近大会のポイント。
3. 前年度ランキング順

ジャパン・シリーズ・チャンピオン

目的 ジャパン・シリーズという一連の大会の総合勝者を決定するためのもので、男女エリートのみが対象となる。

解説 男女エリートのみランキングである点、J、J1のみが対象である点がナショナルランキングと異なっている。違いがわかりにくいという意見もあるが、現状のカレンダーではJ1の比率が高いためなので、今後変わってくると思われる。同ポイントの場合の処置はナショナル・ポイントと同じ。

チーム・ランキング

目的 本連盟加盟団体が主催する公認大会および競技別委員会が認める競技大会のうち、対象大会、指定種目に参加した競技者にポイントを付与する。このポイントの累計によりランキングを与え、明確な種目別、階層別の評価基準とし、登録競技者の競技力と競争心の向上に寄与する。また登録チームに本連盟チームランキングを与え、チームの評価基準とし、チームの目標設定と、健全な発展に寄与するものである。

チームランキング:

- ・エリート・ジャパン・シリーズ・ランキングを基本とする。(上位100位まで)
- ・同チーム登録の競技者上位2名までのポイントを合計する。
- ・ランキングは次の種類を設ける。

クロスカントリー	男女
ダウンヒル	男女
- ・チーム登録には最低1名の該当年度エリート登録競技者が必要である。
- ・ポイントの対象大会はジャパン・シリーズ・ランキングと同様
- ・同ポイントの場合の処置は、獲得ポイント上位者が所属する側を優先する。



チーム登録:

- ・チームは登録しなければならない
 - ・登録に際して、下記の情報が必要である。
 1. チームの正確な名称。
 2. チーム連絡先(住所、電話番号、FAX番号等)。
 3. 主要パートナーまたは雇用者、チーム監督の氏名と住所。
 4. 競技者の姓・名、住所、国籍、生年月日、ライセンス発行日・番号・発行者。
 - ・登録された競技者は暦年中、登録された同一チームでのみランキングの対象となる。
 - ・途中昇格者は、競技者登録時に同チームであると証明された場合に該当選手となることが出来る。
 - ・チームの主要パートナー、雇用者は暦年中に立場を変えることはできない。
 - ・チーム登録には年間賛助会員により申請される(2006-2007年度暫定)
 - ・チーム登録料は徴収しない(2006-2007年度暫定)
 - ・チームに所属する競技者は、同一競技内において、指定されたチャンピオンジャージなどを除き同じデザインのジャージを着用する義務がある。
- その他の事項はUCIチーム規則に準ずる。特に、雇用者と競技者間の契約としては、その期間、報酬、保険等について明記され、同意されていること。

解説 すでに、ワールド・カップや、アメリカなどで行われているものの日本版。今年度は暫定として行われるが、次のようなメリットがあると考えられる。(予定含む)

- 登録チーム
- コマーシャル活動の推進
 - シーズンパス発行によるスムーズな活動
 - テックブースの優遇措置の可能性
 - フィールドゾーンでの区分の可能性
 - テクニカルアシスタンス採用時の区分の可能性
- *このチーム登録によって、現在すでに活動中の企業協賛チームに、運営についての新たな経費追加は基本的に無いものと考えられます。

- 大会主催者
- 大会告知にあたり、参加予定チームとしての扱い、広報効果の向上
 - 従来に比べて、明確な管理体制。
 - 各会場でのサービステント出展の管理が簡易
 - 広報関係の連携がとれる
 - 各チームとのコミュニケーションが容易

- 競技者
- スポンサーとの契約および関連する保障の明確化
 - 活動の推進

- ファン
- 将来の夢としての位置づけ

- JCF
- プロ選手認定資格の問題解決と、手続きの簡素化。事前に申請書による認証を行う形式を取る。
 - 個人登録と連携管理が可能

- 競技役員
- 統一ジャージによる識別

また、これら、チーム作り、プロ競技者育成についての課題の中でも、特に競技者が不利益を被らないように注意しなければなりません。そのためにも、信頼できる雇用者の存在が欠かせません。現時点で、これらの基準を作ることに困難がともなうために、本年度においてはマウンテンバイクの発展に寄与している賛助会員がふさわしいものとして暫定的に申請者と特定しています。

Jについて

目的 国内大会のうち、特に大会全体のクオリティをあげ、国際基準の遵守、マネージングに重きを置いた大会として設定されたもの。国際カレンダー登録、統一されたタイミングシステム、ランキングシステムの確立などを目的に実施されます。これらの背景には、オリンピック、世界選手権大会への参加権などが国際ランキングに移行されつつあることや、選手強化のための国際大会出場が欠かせない点などにあります。



ポイントテーブル

国内公認大会における各カテゴリー／クラスにより、順位に応じて配分されるポイントは異なります。各大会、各カテゴリー／クラスで受けられるポイントは下表の通りです。全日本選手権大会においてはUCI年齢カテゴリー(ジュニア、U23、シニア・エリート、マスター)での順位、他の大会ではカテゴリー(スポーツ・エキスパート・エリート)での順位に応じたポイントが受けられます。また、全日本選手権大会、ジャパン・シリーズ(J、J1)でのダウンヒル／クオリフィケーション(予選)および、XCTでも順位に応じてその大会のポイントとして加算されます。(必ずこれらが実施されるということではありません) 参加選手数が設定人数に満たない場合は上位のクラスに統合されて競技が行われ、統合されたカテゴリー内での順位によりポイントを受けます。

順位	全日本選手権			J	J1	J2		J3 全て J/J1 DH 予選 XCT
	Elite	U23	Junior Master	All Categories	All Categories	Elite	Sport Expert	
	A	B	C	D	E	F	G	
	H							
1	200	150	90	175	150	75	100	20
2	170	120	80	160	130	60	85	17
3	150	100	70	150	120	50	75	15
4	135	80	60	135	115	45	65	13
5	130	60	54	125	110	41	60	11
6	125	50	48	115	106	39	55	10
7	120	45	44	110	102	37	50	9
8	116	40	40	105	98	35	48	8
9	109	36	36	100	94	33	46	7
10	105	32	32	95	90	31	44	6
11	101	30	30	92	87	30	42	5
12	97	28	28	89	84	29	40	4
13	92	26	26	86	81	28	39	3
14	89	24	24	83	78	27	38	2
15	86	22	22	80	75	26	37	1
16	83	20	20	78	72	25	36	
17	80	18	18	76	69	24	35	
18	77	16	16	74	66	23	34	
19	74	14	14	72	63	22	33	
20	71	12	12	70	60	21	32	
21	68	10	10	68	58	20	31	
22	65	9	9	65	56	19	30	
23	61	8	8	61	54	18	29	
24	59	7	7	59	52	17	28	
25	57	6	6	57	51	16	27	
26	55	5	5	55	50	15	26	
27	54	4	4	54	49	14	25	
28	53	3	3	53	48	13	24	
29	52	2	2	52	47	12	23	
30	51	1	1	51	46	11	22	
31	45	以降 1	以降 1	45	45	10	21	
32	44			44	44	9	19	
33	43			43	43	8	18	
34	42			42	42	7	17	
35	41			41	41	6	16	
36	40			40	40	5	15	
37	39			39	39	4	14	
38	38			38	38	3	13	
39	37			37	37	2	12	
40	36			36	36	1	11	
41	35			35	35	以降 1	10	
42	34			34	34		9	
43	33			33	33		8	
44	32			32	32		7	
45	31			31	31		6	
46	30			30	30		5	
47	29			29	29		4	
48	28			28	28		3	
49	27			27	27		2	
50	26			26	26		1	
51	25			25	25	以降 1		
52	24			24	24			
53	23			23	23			
54	22			22	22			
55	21			21	21			
56	20			20	20			
57	19			19	19			
58	18			18	18			
59	17			17	17			
60	16			16	16			
61	15			15	15			
62	14			14	14			
63	13			13	13			
64	12			12	12			
65	11			11	11			
66	10			10	10			
67	9			9	9			
68	8			8	8			
69	7			7	7			
70	6			6	6			
71	5			5	5			
72	4			4	4			
73	3			3	3			
74	2			2	2			
75	1			1	1			
-	以降 1			以降 1	以降 1			

ポイント・テーブルの参照

国内公認大会における各カテゴリー／クラスにより、順位によって与えられるポイントが異なります。各大会、各カテゴリー／クラスで受けられるポイントは下表の通りです。全日本選手権のみUCI年齢カテゴリー(ジュニア、U23、シニア・エリート、マスター)の順位によるポイントが与えられます。参加選手数が設定人数に満たない場合は上位のクラスに統合されて競技が行われ、統合されたカテゴリー内での順位によりポイントが与えられます。また、全日本選手権大会、ジャパン・シリーズ(J、J1)でのダウンヒル予選および、XCTでも順位に応じてポイントが加算されます。

大会	カテゴリー	ポイント・テーブル参照欄
全日本選手権	エリート	A
	U23	B
	ジュニア	C
	マスター	C
J	全カテゴリー	D
J1	全カテゴリー	E
J2	エリート	F
	エキスパート	G
	スポーツ	
J3	全カテゴリー	H
J/J1	DH 予選	
	XCT	

JCF マウンテンバイク 競技インフォメーション (追加情報)

公認大会参加について:

公認大会への参加にあたっては登録することが必要で、大会当日はそのライセンスを提示することが必要です。登録されていない場合やライセンスの提示ができない場合にはその大会に参加できないことがありますのでご注意ください。

なお、JMAの会員登録については保険加入手続きの関係で、締め日にて行っておりますので3月15日までに手続きを完了することをお勧めいたします。

また、エキスパート、エリートについては前年の成績などで、カテゴリーごと登録できる方が決まっています。

これらのカテゴリーには、JMAカテゴリー認定および各都道府県連盟にて手続きする、日本自転車競技連盟登録が必要です。大会では、JMA会員証、日本自転車競技連盟ライセンスを提示してください。

エリート、エキスパートカテゴリーの登録選手に、初回配布予定のナンバープレートは固定ナンバーとなりますので次回参加時にも持参ください。ナンバープレートの改変などは禁止されています。(20100201)

ナショナルランキング:

対象クロスカンтриー14大会中 高得点6大会合計
対象ダウンヒル9大会中 高得点4大会合計

ジャパン・シリーズランキング:

対象クロスカンтриー6大会中 高得点5大会
対象ダウンヒル5大会中 高得点4大会 (20100412)



§4 Commissaires コミセール

- 1.1.047 The commissaire is an official designated by the UCI or a National Federation to ensure that cycling events comply with such provisions of The Regulations as may apply.
 コミセールは、開催される競技大会を「UCI自転車競技規則」に従って行わせるためにUCIまたは国内連盟によって公式に任命されるものである。
- 1.1.048 Commissaires, both individually and/or in a panel shall direct the sporting aspects of cycling events and ensure that the event be in all respects conducted according to The Regulations. They shall, in particular, ensure that the regulations specific to a race, the manner in which it is conducted and all technical provisions relating thereto comply strictly with the applicable provisions of The Regulations.
 コミセールは、個人的にも、またパネルの一員としても自転車競技のスポーツ面を指導しなければならないし、その大会が確実に「UCI自転車競技規則」を順守して開催するように指導するものである。コミセールは、特に、レースの細部に亘る規則を確実に実行させるために、規則に述べられている方法で実行し、適用すべきすべての技術規則には完全に合致させなければならない。
- 1.1.049 The Commissaires Panel shall comprise commissaires designated to supervise a given cycling event.
 コミセール・パネルは、開催される大会を監督するために指名されたコミセールによって編成されるものとする。
 It shall record decisions of individual commissaires and shall apply and/or confirm the penalties imposed.
 個々のコミセールによる決定事項、ペナルティを科すかあるいはペナルティを科することを正式に認めたことは記録しなければならない。
- 1.1.050 Each commissaire shall act neutrality and independently. He may in no way be involved in the organisation of the race. He shall immediately decline his appointment if he is aware of any element that could cast doubt on his neutrality.
 各コミセールは、独立した中立的な立場で行動しなければならない。コミセールは大会の運営に関わってはならない。コミセールは自己の中立的立場に疑わしい要素があることに自ら気づいた場合、即刻任命を辞退しなければならない。
- 1.1.051 The title of commissaire shall be conferred by the National Federation competent to issue his licence. National Federations shall determine the eligibility, status and functions of commissaires in accordance with the principles mentioned above.
 コミセールという肩書きは、彼に対してライセンスを発行する権限を有する国内連盟が授与するものである。国内連盟は、上記の原則に従いコミセールの適任な身分と職務を決定するものである。

(財)日本自転車競技連盟 国際部翻訳より

Code of Conduct for International Commissaires



国際コミッセールの行動規定

UCI Commissaires' Commission UCI コミッセール委員会

1.Introduction.

はじめに

Cycling has undergone a remarkable evolution. The interest in competitions is growing, tv coverage of major events has never been as powerful and the commissaires currently have to deal with cameras which are increasingly more indiscreet.

The decisions of the I.C. can be seen by anybody and are sometimes unedited. Their behaviour and gestures are analysed, communicated, compared and judged. Today, it has become imperative to apply the regulations with precision and uniformity.

The role of the I.C. at the race is primordial. However, it is vital that he respects, before and after the race certain rules of conduct which inspire the confidence and respect for the role he is given. He must act as the ambassador for the UCI throughout the world and defend its image.

サイクリングは、ここ数年に注目し値する発展をしました。自転車競技に対する人々の興味は成長しています。現在では主要なイベントのテレビ報道が強力な影響を与えています。それ故、コミッセー

ルは、益々詮索好きなカメラに対応する必要が有ります。

I.C.の下す決断は公のものであり、ときには編集なしで公開される。彼らの業務行動と動作は、報道されるだけでなく比較、審査分析されます。それゆえ今日、規則に対する正確さと一貫性が必要不可欠となりました。

I.C.は国際レース史上、最初から存在しています。どんな時も、彼らに与えられる役割は、レースの前と後に、その大会の規則を尊重して上で信頼と敬意を持たれる行為を行うことが肝要です。

彼らは、世界全体でUCIの大使として、そのブランド・イメージを損なわない様にしなければなりません。

2.Code of Conduct.

行動基準

A.General

総合

It is strictly forbidden to be accompanied by your wife, companion or friend, even if you intend paying their expenses. You then oblige the



organiser to make last minute arrangements for that person such as transport ,accommodation and meals.

When the expenses are to be paid ,the organiser often feels uncomfortable about asking you about the costs for your guest. By doing this,you put yourself in a weak position and your objectivity may be affected.

To avoid putting yourself in a weak position ,do not objectivity and your independence.

Accept symbolic presents which do not involve any obligation on your part.

たとえあなたが彼らの費用を支払うつもりであってもあなたの妻、仲間あるいは友人を伴って行くことを堅く禁止します。もし同伴者を連れていくと、オーガナイザーはその人の手配(例えば、移動費、宿泊費食事代)をも支払うことを義務と感してしまうからです。

また経費が支払われるときオーガナイザーは、同伴者の経費金額に付いてあなたに尋ねる訳ですが聞き難い事が多いでしょう。これをする事によって、あなたは、オーガナイザーに対して弱いポジションにあなた自身が陥れるだけでなく、あなたの客観性にも影響を与えるでしょう。

あなたの客観性と独立性を守るため、誰に対しても弱いポジションに自分自身を陥れないでください。しかし、あなたにとって、義務(重荷)を伴わない象徴的なプレゼントは受け入れてください。

B.Before the Race.

レースの前

As soon as you know about your appointment ,send a letter introducing yourself to the organiser and give precise details on where you can be contacted. When you receive the race file ,study it carefully.

If some aspects contradict the regulations, do not wait until the last moment to contact the organiser and try to find, through mutual agreement, how the problem can be solved.

あなたがあなた自身のアポイントメントについて知ったときはすぐにそのオーガナイザーに自己紹介の手紙を送って、あなたと連絡を取ることのできるように正確な細部を伝えてください。

あなたがそのレースファイルを受け取った時、慎重にそれを勉強してください。

もしそのファイルに若干の規則否定があるなら、出発する最後の瞬間までオーガナイザーと連絡を取することを怠らず、相互の合意を通して、どのように問題を解決することができるか考えてください。

C.At the Race.

レースにおいて

Upon arrival, take the initiative of introducing yourself to the organiser. Be punctual for any meetings which are scheduled. This is common courtesy.

Have a friendly and constructive meeting with him regarding your respective responsibilities.

Make him understand that you intend to work together to make sure that the race goes according to plan.

Encourage him to share his difficulties with you and offer him your help to try and solve them, within the limits of the regulations.

到着すると、まずあなた自身を紹介(到着)オーガ

ナイザーにしてください。予定される多くのミーティングのために時間通りに行動してください。これは、基本的な礼儀です。

あなたは、それぞれの責任のある人(彼ら)と友好的で建設的なミーティングを行ってください。

あなたは、彼らに困難があればそれを共有し、協力して試みて、そして規則の限界の中でそれを解決するために、彼らに、あなたの力を頼れる様に奨励してください。

D.After the Race.

レース終了後

Work out you travel plan in order to avoid having to leave quickly after the race without making sure that the rankings, communique, antidoping controls etc have been done correctly.

Make sure that the useful documents have been forwarded to the UCI in accordance with the regulations.

あなたの旅行計画がランキング、コミュニケ、アンチドーピングコントロールなどが正確に作られたことを確かめないうでレース終了直後に去らなくてもいいような計画を立ててください。

有効かつ必要な書類が規則の通りに UCI に転送されたことを確認してください。

Contacts with the organiser.

オーガナイザーと連絡を取ります。

Invite the organiser to a debriefing.

Thank him for the positive aspects of the organisation.

Inform him,diplomatically about the weak points noticed for which recommendations will be send to the UCI.

Find together solutions to improve them.

帰還報告をオーガナイザーにしてください。実行委員会の素晴らしい面は、彼らに感謝してください。

外交上(友人として)あなたが UCI に送信するであろう彼らの弱点については、彼らにも知らせてください。

彼らと一緒にそれら(弱点)を改善する解決法を見出してください。

3.Human and Interpersonal Skills.

対人関係と人間としての技能

The International Commissaire has a role which is often difficult and delicate because he is in contact with various groups(organisers, riders, team managers, press representatives)which defend different and sometimes conflicting interests.

Therefore it is important that the commissaire has these human and interpersonal skills to be able to smooth out the differences which may occur.

The essential qualities which an International Commissaire needs are:

国際コミッセルの役割は、困難でデリケートです、なぜなら I.C.は、異なった立場でしばしば意見の相容れない利害関係をグループ(オーガナイザー、ライダー、チーム・マネージャ、マスコミ)の人達と接触を持たなければならないからです。

それ故にコミッセルは、起こりうる意見の相違をなだめて仲裁することが可能なように対人関係と人間としての技能を持つことは、重要です。国際コミッセルに、必要とされる不可欠な素質は次の



通りです。

-Psychology.

-心理学。

Intuitive perception of the feelings and behaviour of another person which helps to avoid conflict and leads to a solution through dialogue. Psychology does not mean weakness.

他人の感情や行動を感じ取る能力を持ち、対立が合った場合には対話を通じてその対立を解決すること。心理学が精神的な弱さを意味しません。

-Feeling

-感じ(想像力)

Intuitive perception of a situation and its evolution. It helps to anticipate certain problems which may come up.

今の状態とその進展の直観的な認識。

レースにおいて起こるかもしれないある特定の問題を予測するのを手伝います。

-Charisma

-カリスマ。

Offer his skills to others. The opportunities for the I.C. to prove this quality are numerous.

他の人達に、彼の技能(カリスマ)を提供して下さい。I.C. がこの技能(カリスマ)を証明する機会は多数あります。

-Authority

-権威。

Progressively improves with experience.

Depends on the skills and capacities of the I.C..

Exercise authority and firmness right at the beginning of your mission.

経験で次第に良くなります。

I.C. の技能と能力に頼ります。

権威の行使とは、あなたがミッションを始めるにあたっての道徳上正しい人としての堅さです。

N.B.

特記事項

a) The I.C. can affirm his authority at the briefing with the team managers.

I.C.はチーム・マネージャと一緒に要旨説明において彼の権威を確認することができます。

b) An I.C. is judged by those who he has authority over, weak, reasonable, strict.

I.C.のジャッジは、その勝敗、合理性、正確性を権威づけれます。

c) Do not confuse authority and authoritarianism (this is badly viewed).

権威と独裁主義(これはひどく見られる)を混乱させないでください。

d) Avoid arrogance and disdain.

横柄と軽べつの態度は、避けてください。

-Sense of responsibility: It is vital for an I.C.. (or a judge in general)

責務に対するの注意 I.C. (あるいは一般的な審判員)は、責務について気が付いてください。

To assume his responsibilities.

To not inflict them on other people (UCI, National Federation, organiser).

Always support a mutual decision made by he commissaire's panel.

彼の責務を果たすために

他の人々 (UCI, NF, オーガナイザー) に責務を

負わせない様に。

コミッセール パネルが相互一致で決めた決断を指示すること。

-Self respect

自尊心。

Well-dressed, smart but conservative.

身なりを良く。

Avoid wearing advertising on your clothing which is not accepted by the UCI regulations or doing promotional activities for a commercial product.

UCI の規則によって受け入れられない物をあなたの衣類の上に宣伝するとか、あるいは商業プロダクトのために販売促進の活動をしてあなたのイメージが悪くなるのは避けて下さい。

During the race, be dignified in the car.

レースの間には威厳があるようにしてください。

Use polite and proper language.

礼儀正しく、そして適切な言語を使ってください。

Do not adopt attitudes which denigrate the role of an International Commissaire.

国際コミッセールとして、その役割をけなす態度は、しないでください。

Be sober at all times.

いつもしらふであってください。

Respect for others.

他の人への敬意。

Politeness and cordiality.

丁寧さと真心。

Never refuse to have discussion.

決して論議をすることを拒否しないでください。

Do not talk with the riders during or immediately after the race; this is a flagrant lack of psychology.

レース中、あるいはすぐ後に選手と親しく話をしないでください。これは心理学の知識のはなはだしい欠如です。

2 golden rules:

2 ゴールデンルール。

- If one wants to be respected, others also must be respected.

もしあなたが尊敬されることを望むなら、他の人を同

じ様に、尊敬しなければなりません。

- Familiarity breeds contempt.

慣れが失敗を生みます。(初心忘れべからず)

-contacts with the press.

プレスとの対応

Never refuse interviews, but make sure you are prepared for them.

Be careful of what you say.

The I.C. interviewed represents the UCI: he must project a good image.

If possible appoint a spokesperson and agree within the jury, on the points to be discussed.

The press deserves your consideration; provide them with information within the scope of your function.

決してインタビューを断わらないで下さい、しかしあなたに、それらに対する用意ができていることを確かめてください。

あなたが何を言うかについては、注意深く考えてください。

インタビューされたI.C.はUCIの代理を務めます: 彼は良いイメージを映さなくてはなりません。



もし可能であるなら広報員を任命して下さい、そして
ジュリーの中で審議のポイントを論じられることも
同意してください。
プレスに対しては、当然考慮しなければならない；
あなたは、あなたの職務の範囲の中でインフォメ
ーションを彼らに提供しなければならない。

This brief guide should be taken with the I.C. on his missions.
It is an adviser and a friend who he should listen to and apply
its directives.

Through his behavior, the International Commissaires must
serve as an example in all circumstances.

この短いガイドは I.C.としてのミッションに行くときに持たな
ければならない。友人をアドバイザーとして意見を聞く時は参
考として聞くように。

国際コミッセルの行動、言動はどんな状況であっても教科
書的あり方でなくてはいけないことを忘れてはならない。

抜粋：UCI (国際自転車競技連合) 規則、スポーツとしての自転
車競技組織、および国際コミッセルの行動規定

編集：中西 裕幸、高橋 博

